

キヤノンメディカル 遺伝子かわら版

大動物編 Vol. **1**

発行2020年7月7日

【お問い合せ先】

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 IVD事業統括部分子検査ソリューション事業推進部 (担当: 山本) 〒212-0015 神奈川県川崎市幸区柳町70-1 TEL: 03-6369-9648 FAX: 044-920-2161 CMSC-inquiry_MTS@medical.canon

今月のトピックス

ウシ呼吸器病BRDC セミナー動画 WEB配信中!!

さて、今月から弊社の大動物関係のお役立ち情報をみなさまにお伝えさせて頂きたく、「キヤノンメディカル遺伝子かわら版 (大動物編)」として配信させて頂きます。

第一号の今回は、「ウシ呼吸器病BRDC セミナー動画 WEB配信中!!」と題してのご案内です。

みなさま、ウシ呼吸器病の原因となる微生物はたくさん存在しますが、弊社の**ウシ呼吸器病遺伝子検出キット**は、**一度に9種の病原体の遺伝子検出が可能**です。

2020年2月に、本製品について日本獣医師会 (東京) でのランチョンセミナーにて、あかばね動物クリニックの鈴木先生にご講演頂いた内容を**web上で動画配信**しています

動画では、遺伝子検出の概要から、BRDC原因微生物の全国浸潤状況、病原菌発見時の"次の一手"など、これまでのご知見について**ご講演**頂いています。ご興味ある方はぜひご覧ください!!

動画の閲覧はこちら → ■

>>>|

キヤノンメディカル ウシ呼吸器病

検索

令和1年度日本財医等会駅医学哲学会年次大会 ランチョンセミナー

ウシ呼吸器病遺伝子検出キット (DNAチップ)を用いた調査で得られた 我が国のBRDO原因微生物浸潤状況の 実態と我々に出来ること あかばも動物クリニック 動木 保度



ウシ呼吸器病遺伝子検出キット(DNAチップ)を用いた調査で得られた 我が国のBRDC原因微生物浸潤状況の実態と 我々にできること

I.DNAチップによるBRDC検査について II.全国BRDC原因微生物浸潤状況 III.我々ができること



検出用 DNAチップカード (研究用)



DNA検査装置 Genelyzer II

今月の Q&A Q: 遺伝子検出に使用する検体は何ですか?

A: 牛の鼻汁もしくは鼻腔スワブから抽出した核酸溶液を使用します。

担当者のつぶやき

今月から「キヤノンメディカル遺伝子かわら版 (大動物編)」を配信開始致しました。弊社の製品には理化学機器や 農業向けの製品がありますので、かわら版も「研究編」と「大動物編」のシリーズに分けて運用してみたいと思っています。 弊社の近況などをこのニュースレターでお伝えして行ければと思っていますので、何卒よろしくお願い致します。

ご要望や、ご不明点などありましたら、お気軽にお問い合せください。(山本)